

ファイナルレポート

第 27 回 国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
2016 年 11 月 8 日～11 日
ドイツ・ミュンヘン見本市会場

2016 年 11 月 11 日

IoT(モノのインターネット)がエレクトロニクス業界に革命を起こす

Summary

- 80ヶ国から約 73,000 人が来場
⇒ドイツに次いでイタリア、オーストリア、英国、北アイルランド、フランス(国別来場者順)
- 50ヶ国から 2,913 社が出展
- 会社設立志望者と新興企業を中心に展開する新プラットフォーム Fast Forward がスタート



Facts & Data

会 期	2016 年 11 月 8 日(火)～11 日(金) 午前 9 時～午後 6 時(最終日のみ午後 5 時まで)
会 場	ドイツ・ミュンヘン見本市会場
主 催	メッセ・ミュンヘン(Messe München GmbH)
規 模	全 13 ホール 143,000 m ²
出 展 企 業	50ヶ国以上から 2,913 社 (2014 年:52ヶ国から 2,725 社)
来 場 者 総 数	80ヶ国から約 73,000 人 (2014 年:87ヶ国から 73,189 人)
専 門 分 野	エレクトロニクス、電子工学
主 な 出 展 品	半導体、エンベデッドシステム、ディスプレイ、マイクロナノ・システム(MEMS、マイクロ製造)、センサー技術、検査・測定技術、電子設計(ED/EDA)、受動部品、電気機械技術/システム/周辺機器(スイッチ&キーボード、配線部品/システム、ケーシング技術)、パワーサプライ、プリント基板・その他回路基材、受託製造サービス(EMS)、アセンブリ/サブシステム、オートモーティブ・エレクトロニクス、ワイヤレス技術、情報収集システム 対象業界:産業電子機器、オートモーティブ、鉄道技術電子機器、通信(有線)、無線、家電・娯楽製品、その他民生電子機器、事務・情報処理機器、医療電子技術、航空・宇宙・軍事用電子機器
専 用 U R L	www.electronica.de (英語/ドイツ語)

「ネットにつながる世界 — 安全と安心を」をモットーに、世界最大のエレクトロニクス見本市である electronica が 11 月 8 日から 11 日にかけて、ドイツ・ミュンヘンで開催された。50 か国以上から計 2,913 社が、同分野のソリューションを紹介した。これら企業は、この業界の集まりを活用し、約 73,000 人の来場者とのネットワーク作りや、世界中から訪れる専門家と意見交換を行った。



メッセ・ミュンヘン社長のファルク・ゼンガーによると、「今年の electronica は、将来私たちの生活の様々な側面が、いかに相互につながり、私たちの日々の生活を高めてくれるかをとても良く見せてくれた。見本市で私たちが見たのは、革命だ」。electronica の技術諮問委員会会長であり、NXP Semiconductors 社自動車ゼネラルマネージャー兼欧州副社長でもあるカート・ジーフェルス氏も、「スマートテクノロジーとスマートアプリケーションの展開に遅れずについていくことは、新たなセキュリティソリューションにおいて不可欠となっている。セキュリティ・バイ・デザインは業界にとって重要な指針だ」と付け加えた。「セキュリティ・バイ・デザインは重要な役割を担うだろう」と説明するのは、ZVEI(電子技術・電子産業協会)に所属するエレクトロニック・コンポーネント・システム工業会及び PCB・エレクトロニクス・システム工業会専務のクリストフ・シュトポック氏だ。「消費者から信頼を得、スマート機器販売を上手にしていくための唯一の方法は、ハイテク製品やその付属品の安全性を確保することだ」と同氏は続けた。「electronica トレンド・インデックス」が明かしたように(11 月 8 日のプレスリリース参照)、接続機器における安全性が極めて重要なことは、世界中の消費者が知っている。

見本市のデータ

80 か国以上から訪れた約 73,000 人の来場者が、ドイツ・ミュンヘンの同見本市に参加した。Gelszus Messe-Marktforschung によって行われた調査によると、来場者の満足度は依然として高水準にとどまった。99%が見本市を良い〜極めて良いと評価した。

ドイツに続いて、来場者数の多かった国は順に、イタリア、オーストリア、英国、北アイルランド、フランス、スイス、米国、イスラエル、ロシア、ポーランド、スロヴェニアであった。また、フランス、中国、スロヴェニア、トルコ、イスラエルからの来場者数には、かなりの伸びが見られた。

見本市では、50 か国以上から計 2,913 社が、それぞれの製品やテクノロジーを紹介した。これは、2014 年と比較して 7%増加しており、この傾向は過去数年にわたり続いている。「アプリケーションの関連部品を紹介する企業が増えてきている」とゼンガーは述べている。ドイツに続き、出展社の多い国は順に、中国、台湾、米国、英国であった。

前進し続ける自動車エレクトロニクス

「今日、自動車におけるイノベーションの 80%は、マイクロエレクトロニクスとソフトウェアによって推し進められている」とメッセ・ミュンヘン社長のファルク・ゼンガーは話している。新しい支援システムからセンサー、LED まで、自動車エレクトロニクスは electronica においてその存在感を増し続けている。全出展社の三分の一が同分野のソリューションを展示している。見本市開幕の前日、20 か国以上から 228 人の来場者が参加した「electronica オートモービル・カンファレンス」がこのテーマの重要な先駆けとなった。同カンファレンスには 20 か国以上から 228 人の来場者が参加し、2014 年と比較してかなりの増加が見られた。



強力な関連イベントとカンファレンス・プログラム

「ネットにつながる世界 — 安全と安心を」をモットーに、見本市初日、半導体業界、OEM、科学分野からの要人たちは CEO 円卓会議にてウォームアップを行った。今年の議論では、セキュリティが重要であると同時に、非常に複雑であることが明らかとなった。しかし、安全性の実現は IT 業界と密接に協力していくことでしか達成できない。「エンベデッド・プラットフォーム・カンファレンス」の主なテーマでもある、IoT（モノのインターネット）とサイバーセキュリティは、



218 人の参加者を動員した。インテリジェントかつデジタルネットワークで繋がった労働環境のための国際会議および公開カンファレンスである IT2Industry も成功を収めた。来場者たちは IT2Industry で、産業ソフトウェア&システム、産業 IT セキュリティ、ビッグデータ&クラウド、スマートファクトリー、M2M コミュニケーション、組み込みシステムなどのテーマについて、情報収集を行った。

「electronica Fast Forward」が首尾よくスタート

electronica は史上初、会社設立志望者と新興企業を中心に展開する新プラットフォームを特集した。4 日間で、世界中から 35 名の参加者が「アイデア」、「プロトタイプ」、「スタートアップ」のカテゴリにおいて「electronica Fast Forward 賞」を争った。彼らは、エレクトロニクスにある計り知れない革新的強みと原動力を示すとともに、それぞれのアイデアで業界に勢いをつけた。そして、その努力は electronica Fast Forward で讃えられた。最終候補者についてのさらに詳しい情報は、electronica ウェブサイトの「electronica Fast Forward」をご覧ください。

次回の electronica は 2018 年 11 月 13～16 日、ドイツ・ミュンヘンにて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.electronica.de をご参照ください。

electronica 2016 主な日系出展社 (50 音順)

アルファ・エレクトロニクス(株)、愛知製鋼(株)、旭化成エレクトロニクス(株)、アルプス電気(株)、アンリツ(株)、岩崎通信機(株)、(株)エスエムアイ、SMK(株)、NLT テクノロジー(株)、(株)エムテック、エルナー(株)、(株)大貫工業所、(株)沖センサデバイス、オムロン(株)、(株)オルタステクノロジー、釜屋電機(株)、(株)キーエンス、菊水電子工業(株)、北川工業(株)、九州電通(株)、京セラ(株)、京都試作ネット、コア(株)、コーセル(株)、(株)サーキットデザイン、ザインエレクトロニクス(株)、栄通信工業(株)、サガミエレク(株)、(株)幸手スプリング、(株)サトーセン、サトーパーツ(株)、サンユー工業(株)、三洋電気(株)、サン電子工業(株)、シークス(株)、JX 金属(株)、シチズンファインテックミヨタ(株)、(株)芝浦電子、新光電気工業(株)、新日本無線(株)、(株)スカイゲート、進工業(株)、スタンレー電気(株)、スミダコーポレーション(株)、セイコーインスツル(株)、セイコーエプソン(株)、(株)清和光学製作所、SEMITEC(株)、第一合成(株)、第一精工(株)、(株)タイカ、(株)大真空、大東通信機(株)、太陽誘電(株)、(株)タカチ電機工業、タカヤ(株)、タツタ電線(株)、立山科学工業(株)、TANAKA ホールディングス(株)、田淵電機(株)、(株)タムラ製作所、(株)チップワンストップ、TDK ラムダ(株)、東京エレクトロン デバイス(株)、(株)東芝、東伸工業(株)、凸版印刷(株)、トレックス・セミコンダクター(株)、(株)ニコン、(株)ニチフ、日機装(株)、日精電機(株)、(株)ニッポンインダストリーズ、日本アルミット(株)、日本ケミコン(株)、日本シイエムケイ、(株)日本セラミック(株)、日本電産コパル電子(株)、日本電波工業(株)、(株)日本ファインケム、(株)ノイズ研究所、ハギワラソリューションズ(株)、パナソニック(株)、浜松ホトニクス(株)、日置電機(株)、(株)日之出電機製作所、ヒロセ電機(株)、(株)富士セラミックス、富士通コンポーネント(株)、富士高分子工業(株)、宝商(株)、北陸電気工業(株)、(株)ポラテクノ、(株)マックエイト、松定プレジジョン(株)、丸紅テクノシステム(株)、(株)MARUWA、(株)ミツトヨ、(株)村田製作所、(有)メガテック、山一電機(株)、ユー・エム・シー・エレクトロニクス(株)、(株)ヨコオ、横河電機(株)、(株)リコー、利昌工業(株)、リニアテクノロジー(株)、(株)ルネサス エレクトロニクス(株)、ルビコン(株) など

資料請求、各種お問い合わせ先：
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)